

空き家活用 最新情報

円移住定住推進課 Tel 71-2011 Fax72-3176

相続について考える
講演会・相談会



令和6年4月から相続登記が義務化されます。相続やそれにより発生する空き家や事業の承継、税金などの基礎知識と、問題への対処方法を学びます。講演会終了後、講師や専門家に個別相談ができます。

10月11日(水) 講演会 14:00~15:00

相談会 15:15~17:15

場豊科公民館大会議室

講師奥原清さん(税理士・あずさ税理士法人)

費無料 定講演会50人・相談会15人(先着順)

10月10日(火)までに電話、ファクス、メールいずれかの方法で申込書を提出。申込書は市HPから入手できます。

8月から生まれ変わりました

空き家のマッチング制度

活用を希望する人は市窓口へ!

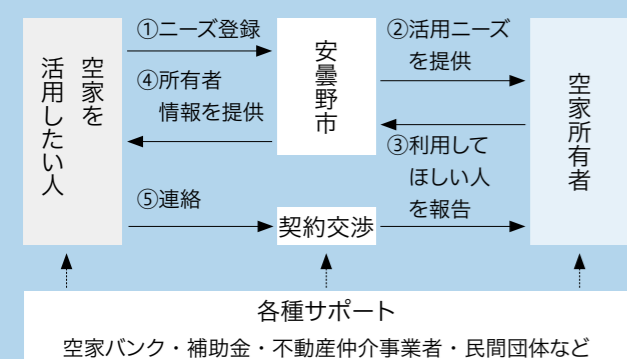


8月から所有者が利活用を希望している物件を移住や創業などの相談で空き家活用を希望する人へ情報を公開しています。この公開物件は、市空き家バンクに未登録のものです。

【特徴】

- 市場にない物件を現地確認でき活用のイメージができる!
- 物件情報の選択肢が増え活用のチャンスが広がる!

【利用方法イメージ】



アクティビティ好きにぴったり! 一棟貸しの宿

山道



松本市四賀で古民家を改修し、カフェや宿などの複合施設「KAJIYA」を営業する石井裕士さんは、明科駅からロードバイクで四賀へ来る人が多いことに着目し、県内にはまだ少ない自転車で泊まれる宿を創ろうと決意。明科駅前で空き家を探し、龍門測てらすの紹介で物件を見つけ、改修ののち、今月オープンさせます。大きな窓から絵画のように北アルプスの眺望を楽しめる宿で、ロードバイクやポートを置いておけるスペースを備えています。

「空き家はどの地域でも課題で、四賀でも活用が進んでいます。明科と四賀を行き来しながら、互いの地域の知恵と人とのつながりを共有する懸け橋になればと思っています」と石井さんは話します。



本年6月に
横浜市から明科へ移住

鶴丸 佳樹さん
宏実さん

移住コーディネーターから龍門測てらすの話を聞き、相談に行ったところ、タイミング良く気に入る空き家を紹介してもらえ、すぐに移住を決めました。北アルプスの眺めが素晴らしく、長野市への通勤に便利で、自然の中で子育てができる環境にも恵まれた場所に移住して良かったです。現在は賃貸契約のため、引き続き相談しながら、明科で定住するための空き家を探していきます。

地元産木材をふんだんに使ってリノベ中

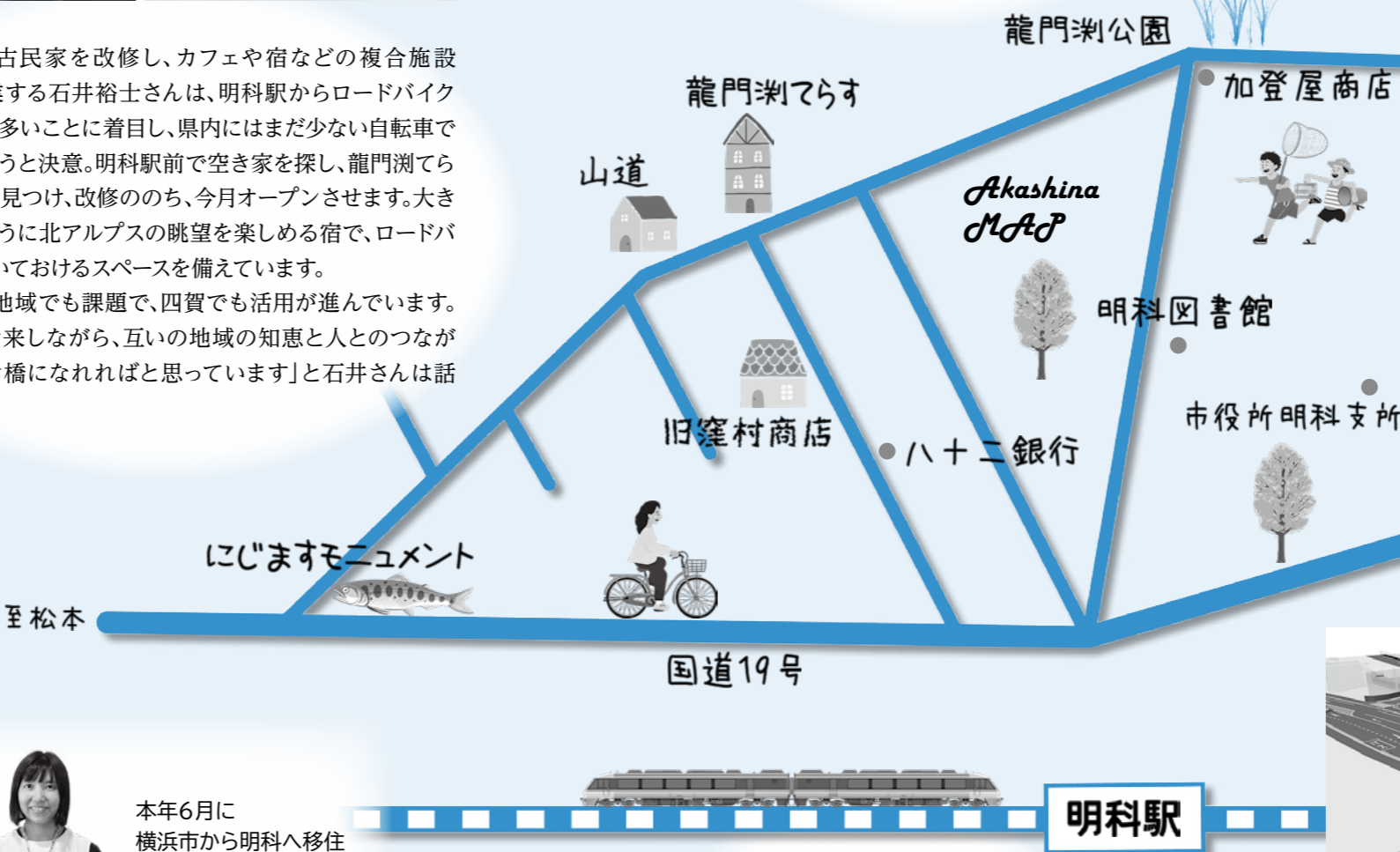
旧窪村商店

かっぱが描かれた看板が印象的な窪村商店。かつては釣具店として営業していましたが、空き家となっていました。明科でワインの醸造に取り組む齋藤さんが販売場所として借り始め、加えて合同会社うずまきの中村さんが、現在自身の建築事務所兼住宅として活用するためリノベーション中です。

「作業をしていると、『昔窪村商店で〇〇を買ってね〜』と話しかけてもらえることがあります。昔から地域で愛されてきた場所をリノベーションで残し、つないでいきたい」と語る中村さん。いずれは釣り具を売っていた店舗スペースを生かし、雑貨や古道具の販売ができたら、と夢を膨らませています。



生まれ変わる明科駅
周辺を歩いてみよう
明科駅周辺で行われている工事やリノベーションの様子や住民の声を紹介します



近所に住むM・Kさん

以前はこの周辺にはお店がたくさんありましたが、その多くが閉店してしまいました。飲食できるところがほとんど無く寂しく思っていたので、ランチができる場があるのは嬉しいです。自分自身はたまに食事に行くくらいですが、家族は時々買い物や世間話をしに行きます。駐車場から龍門測てらすへの道に人が歩くようになり、人の動きが出てきたと感じています。



明科駅

平成30年から進めてきた明科駅周辺の整備が、本年10月に完了する予定です。駅前広場の主な整備内容は、①トイレを駅舎の隣に改築、②コインパーキングの新設、③バス停留所から駅舎までの歩道に屋根を設置です。広場整備に合わせて駅舎も本年3月にリニューアルされました。

明科駅は、特急しなの号が停車する首都圏へのアクセスが良い駅です。この整備で、さらに利便性の高い駅になることが期待できます。

都市建設部
都市計画課
城田 温大

